

令和7年度のがん検診・歯周病検診に関する大切なお知らせ

お知らせ① がん検診等受診券(※)と送付対象者が変わります

※市のがん検診などを受ける際に必要なものです。

	令和6年度	令和7年度
名称	がん検診等受診券	がん検診・歯周病検診等受診券
対象の検診	がん検診等	【追加】歯周病検診、オーラルフレイル健診(口腔機能)
形式	ハガキ	封書(A5サイズ)
送付対象者	20歳以上の女性 40歳以上の男性	以下のいずれかに該当する方 ①過去3年間に弥富市のがん検診・肝炎ウイルス検査の受診歴のある方 ②弥富市国民健康保険加入者で21歳以上の女性または41歳以上の男性 ③節目歯科無料クーポン検診対象者(21～76歳の5歳刻みの年齢の方) ④子宮・乳クーポン検診(21歳女性、41歳女性)・大腸・肝炎無料検診(40歳の方)対象者 ⑤初めてがん検診の対象になる方(20歳の女性、40歳の男性・女性) 詳しくは、「弥富市検診ガイド」(下記お知らせ②参照)をご覧ください。

5月15日(木)までに受診券が届かない方で検診を希望される場合は、市役所健康推進課にお問い合わせください。

お知らせ② 「弥富市がん検診・健康増進事業のご案内」が変わります

	令和6年度	令和7年度	
		がん検診・歯周病検診等受診券送付対象者	左記以外の方
配布時期	4月	5月上旬	×
配布方法	全戸配布	個別郵送(がん検診・歯周病検診等受診券に同封)	市ホームページで確認できます。(4月から)市役所健康推進課窓口でも配布します。(5月から)
名称	弥富市がん検診・健康増進事業のご案内	弥富市検診ガイド	



お知らせ③ 総合がん検診の申込について

総合がん検診の申し込みについては、弥富市検診ガイド(お知らせ②)をご確認ください。

●申込期間 5月1日(木)～21日(水)必着

お知らせ④ 乳がん検診の対象者を変更します

検査方法		令和6年度		令和7年度	
		マンモグラフィ	超音波	30歳以上の女性	30～39歳
マンモグラフィ		○(2年に1回)	×	○(2年に1回)	
超音波		○	○(毎年)	×	



带状疱疹予防接種について

令和6年度带状疱疹予防接種費用助成の申請期限が近づいています

接種当日、弥富市に住民登録のある50歳以上の方で、令和6年4月1日から令和7年3月31日までに带状疱疹予防接種を受けた方は接種後、市役所健康推進課へ助成金の申請が必要です。4月1日以降は、定期接種に移行します。(※下段参照)



申請期限 4月10日(木)

※申請期限を過ぎた場合は、受け付けできませんのでご注意ください。

高齢者带状疱疹予防接種(定期接種)について

厚生労働省から令和7年度から65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の方対象に定期接種とする方針が示されました。

定期接種対象者には高齢者带状疱疹予防接種券を郵送します。

接種方法

高齢者带状疱疹予防接種券(※対象者に4月中に郵送)、接種費用、マイナ保険証などを持参して、指定医療機関に予約の上、接種してください。指定医療機関など、詳しくは郵送する案内をご覧ください。対象の方で接種を希望される場合は接種券が必ず必要です。

詳しくはこちら▼



健康増進コラム ～第204回～

こころの健康 うつ病の回復過程について

うつ病の治療には長い期間が必要です。うつ病の回復過程やご自身が回復過程のどの段階にいるかを知ることが安心につながります。

3月は自殺対策強化月間です



- 1. 急性期**
 - 不安、不眠など自覚症状が現れる
 - 受診により休養や薬を勧められる
 - ストレスから離れることが大切
- 2. 回復期**
 - 調子の良いときと悪いときの繰り返し(一進一退)
 - 徐々に生活リズムが整ってくる
 - 自己判断で医師に処方された薬をやめない
- 3. 再発予防期**
 - 症状が軽くなり、気持ちが安定してくる
 - 職場復帰も可能になってくる
 - 再発の可能性もあるため、薬や通院は継続する

それぞれの過程に境界線を引くことは難しく、期間も人それぞれです。

いつまでに治すという目標は逆効果ですので、医師と相談しながらゆっくりと治療していきましょう。

こころの体温計

こちらから簡単なアンケートで自分のこころの状態を確認しましょう▶



歯の健康講座 3月号 その511

オーラルフレイル

人生100年時代といわれるようになり、80代の方でもすこぶる健康で、異常値がないという方もみえるのではないのでしょうか。

高齢者に起こりやすい5つの特徴は、①体重減少、②筋力低下、③疲労感、④歩行速度の低下、⑤低活動性が挙げられます。このうち当てはまるものが、1～2つならフレイルの前段階です。フレイルとは老年医学でいう「虚弱」のこと。健康と要介護状態の間を意味します。

歯と口腔に関して見ると「硬い物が噛みにくくなった」「食べるときにむせる、飲み込む力が弱くなった」「口の渴きが気になる」「舌の力や開口力が落ちてきた」など、口の機能が衰える状態が重なることをオーラルフレイルといいます。口腔機能の低下が加速し、栄養がうまくとれず、心身機能の低下にもつながりやすいです。オーラルフレイルは改善できます。口周りも手足と同じように筋肉が重要なので口や舌を動かすトレーニングを続けたいものです。

(海部歯科医師会)

